

信楽園病院だより

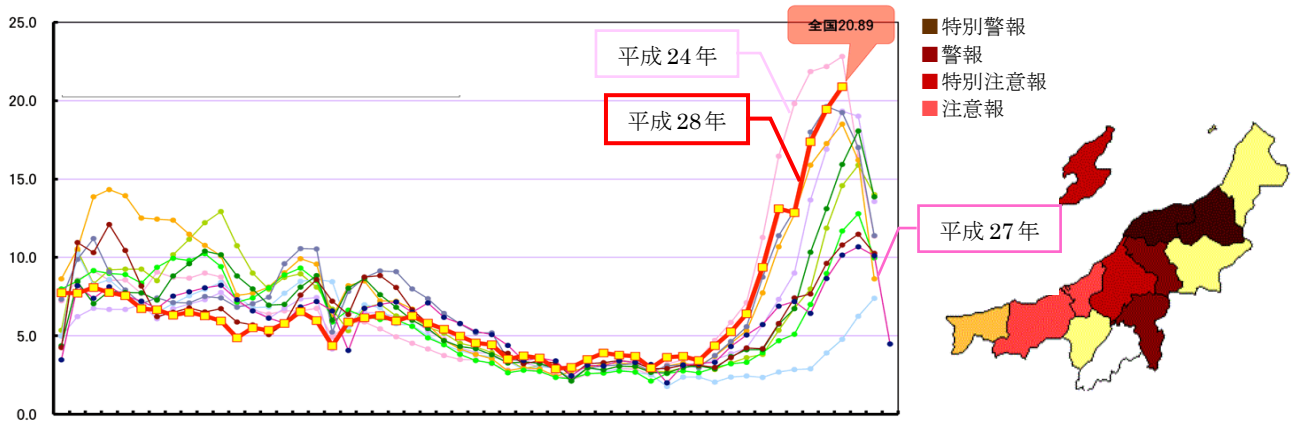
ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう

第191号

秋から冬にかけてウイルス性の感染性胃腸炎が流行する可能性があります!!

管理栄養士 鈴木 善之

本シーズンの感染症発生動向調査における感染性胃腸炎の報告数は、直近5年間で最も流行した平成24年のピーク時に迫る水準となっています。



左図: 国立感染症研究所 感染症発生動向調査 週報発表(2016年12月19日~12月25日)より改編

右図: 【保環研】感染症情報:新潟県 地域機関別マップ 感染性胃腸炎(最近4週間)より出典

新潟県においても、今シーズンの感染性胃腸炎患者の報告数は、昨年の2倍以上の水準で推移しており、また、平成28年(12月19日~12月25日)においては、4年ぶりに国の示す警報基準(定点当たり20)を超えたところです。

厚生労働省ホームページより

ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは

症状

- 吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(38度以下)、潜伏期間は24~48時間です。
- 通常、発症後3日以内で軽快しますが、発症当日の症状が激しいといわれています。
- 感染しても全員が発症するわけではなく、風邪のような症状で済む人もいます。

感染経路

ノロウイルスの感染経路には大きく分けて2つのルートがあります。

- 牡蠣等の2枚貝の生食や調理者の手洗いの不十分等によりウイルスを含んだ食品や水から感染するルートです。
- 患者の便やおう吐物に触れた手を介する接触感染が主なルートと考えられています。

10月から2月の5ヶ月間は「ノロウイルス食中毒予防強化期間」です!

予防のポイント

- トイレ後、調理前等に、流水と石けんで手を洗いましょう。**2度洗い**が効果的です。
- 2枚貝等のノロウイルスによる汚染のおそれがある食品は中心部を**85~90℃で90秒以上加熱**しましょう。
- 下痢やおう吐等、胃腸炎症状がある時は**直接食品に触れない**ようにしましょう。ノロウイルスは症状消失後も2週間~1ヶ月程度、便に排出されることがあります。
- 調理器具は食材・用途毎に**使い分け**、使用後は洗浄・**消毒を徹底**しましょう。
- ウイルスの飛散を防ぐため注意しておう吐物、ふん便を処理しましょう。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。

平成29年2月1日発行

ノロウイルスに関するQ&A

検索